

とやま

県広報とやま

2004

4月号

No.405

富山県

特集 平成16年度県予算「人とくらしの元気予算」

クローズアップ 4月から電子申請がはじまります



富山県中央植物園の教育普及活動や調査研究活動に協力している中央植物園友の会ボランティアの皆さん。

今回の予算編成では、極めて厳しい財政環境のなかでも県民の皆さんが夢と希望をもてるよう、元気で豊かな人づくり、本県の発展の基盤づくり、景気・雇用対策や安全・安心な地域づくりなど当面の緊急課題に対応する施策に重点をおきました。これらの施策を進めるにあたっては、行財政改革に積極的に取り組み、組織機構、外郭団体、事務事業の見直しを進め、より少ない人員・経費で、質の高いサービスを提供していきます。

夢と希望をもてる予算に

県の歳入の大きな柱である県税³は、あまり大きな伸びを期待できません。また、三位一体改革により地方交付税などの一般財源⁷が、平成十五年度に比べ二百五十五億円の減額となるなど、多額の歳入が不足することになりました(図1)。

このため、徹底した歳出の抑制に努め、歳入では県の貯金である基金を百五十億円取り崩すほか、県債⁴の活用を図りました。県債については、前年度を下回る額に抑え(図2)、かつ返済のための資金が地方交付税で少しでも多く手当てされるものを活用する(図3)としています。

厳しい財政状況と財源対策

平成十六年度の重点施策

元気で豊かな人づくりの総合的な推進

県民のさまざまな元気活動への取組みやボランティア・NPO活動の支援などの元気とやま推進施策
小児救急医療の整備充実などの元気な子ども施策
生きがい対策や在宅福祉などの元気な高齢者施策
「歩く」ことによる健康づくりなどの健康・スポーツの振興施策
地域におけるコミュニティケア活動の支援などの地域総合福祉施策
小学校低学年での「三十五人学級」の実施などの教育施策

発展の基盤づくりや環日本海の中央拠点づくりの計画的な推進

北陸新幹線や富山空港、伏木富山港の整備、地域交通の活性化対策などの交通体系の整備
NOWPAP本部事務局の運営支援、大連事務所設置などの環日本海施策

当面の緊急課題への的確な対応

公共事業、県単建設事業、福祉・教育施設の整備への取組み、中小企業金融対策の拡充などの景気対策
パイオ推進戦略会議の設置、企業誘致の推進などの新産業・ベンチャーの創出
緊急雇用創出特別基金の活用などの雇用対策
警察官の増員などの安全・安心な地域づくり
BSE(牛海綿状脳症)や高病原性鳥インフルエンザの検査・予防などの食品の安全対策



人とくらしの元気予算

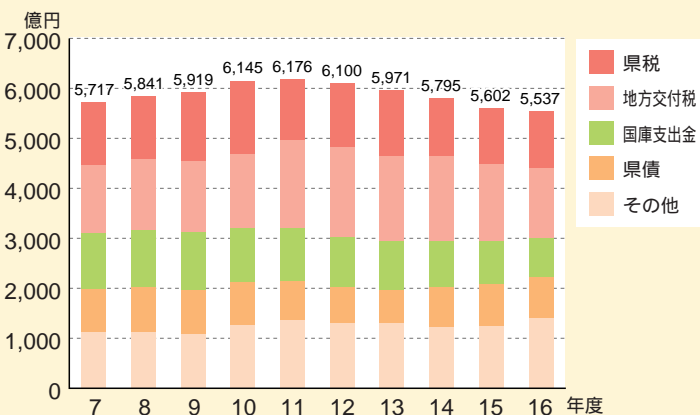
一般会計当初予算は、五、五三七億円で、五年連続減額に

平成十六年度の県の予算編成は、国と地方の三位一体改革¹が進められるなかで、国から地方への支出が抑制され、地方交付税²などが大幅に削減されるといって、これまでにない極めて厳しい財政環境のもとでの編成となりました。

こうした状況のなかで、県民新世紀計画に基づき施策を進め、県政のさまざまな課題に積極的に取り組んでいくために、歳入(収入)の確保と歳出(支出)の徹底した見直しに努め、最少の経費で最大の効果が発揮できるように努力しました。

平成16年度一般会計当初予算

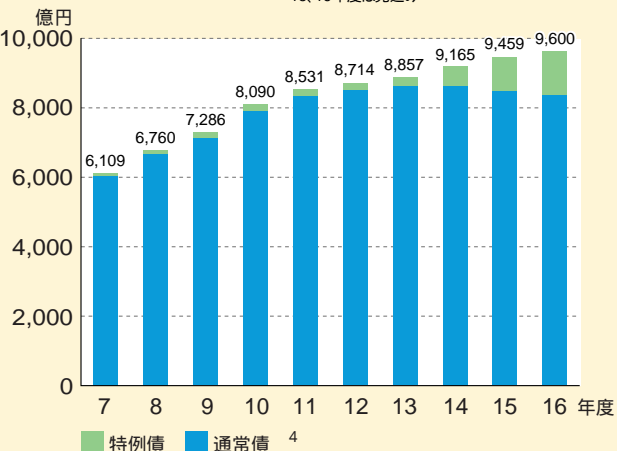
図1 一般会計当初予算(歳入)の推移



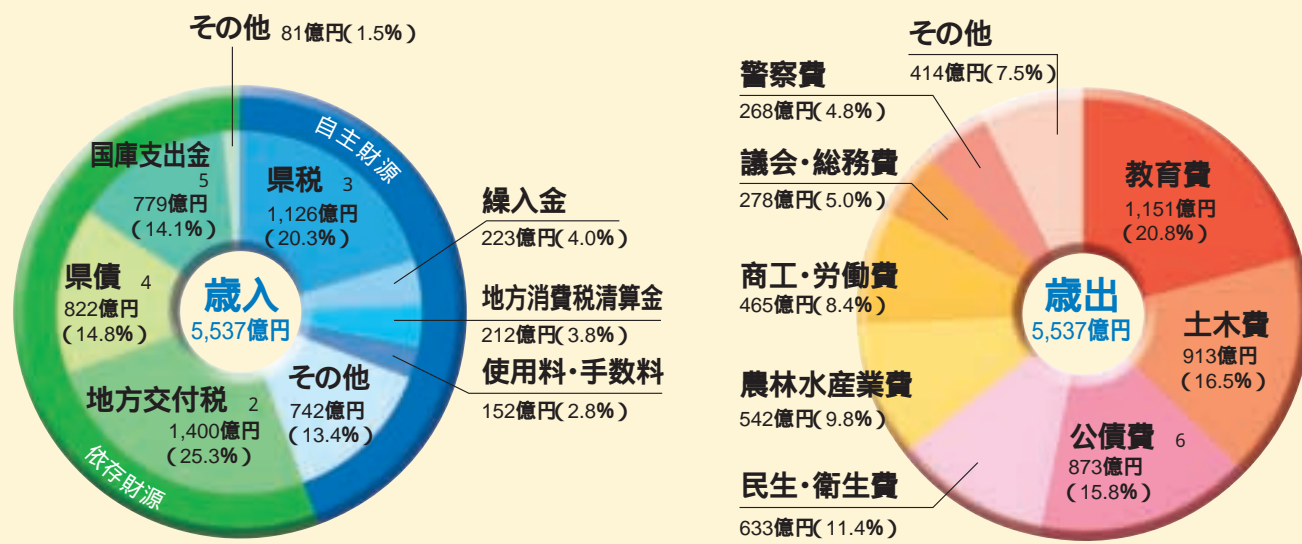
区分	15年度	16年度	増減額	伸び率
県税	1,104	1,126	22	1.9%
地方交付税	1,555	1,400	155	10.0%
国庫支出金	844	779	65	7.7%
県債	848	822	26	3.1%
うち臨時財政対策債	(380)	(280)	(100)	(26.3%)
その他	1,251	1,410	159	12.8%
計	5,602	5,537	65	1.2%

地方交付税と臨時財政対策債⁴を合わせ、255億円減額となりました。

図2 県債残高の状況



県債(県の借入金)の残高は、特例債の発行が増加したため、平成15年度末より1.5%増加し、16年度末で9,600億円程度となる見込みです。しかし、そのうち通常債の残高については、16年度末の見込みが約8,360億円で、13年度末の8,623億円をピークに減少してきています。



1 [三位一体改革] 国庫補助金・負担金の廃止・削減、地方への税源の移譲、地方交付税の縮減の三つを同時に行うことで、国から地方への分権を進め、行政を効率化し財政再建を図るもの
2 [地方交付税] 標準的な行政サービスを提供するために必要な税収が不足している地方公共団体に対して、国から所得税などの国税収入の一部が交付されるお金。地方公共団体が使い道を決めることができる。
3 [県税] 県民税や事業税などの県が徴収する税金
4 [県債] 道路や学校など長い期間利用できる公共施設の整備のために、県が借り入れるお金で、将来利用する住民にも費用を負担してもらうもの(通常債)。これ以外に、国の地方交付税の財源が不足しているために、県がお金を借り入れる臨時財政対策債などがある(特例債)。なお、返済のためのお金は、通常債の多くは地方交付税で手当てされ、特例債については全額地方交付税で手当てされる。

5 [国庫支出金] 国が使用目的を特定して交付するお金で、国庫補助金・負担金などがある。
6 [公債費] 県債の返済に使うお金
7 [一般財源] 使い道について制限がなく、いろいろな経費に充てることができる収入。これに対して補助金など使い道が限られているものを「特定財源」という。

人材

立県

元気で創造性
豊かな人づくり

元気とやま

多様な元気活動への支援……一億円
県民の自主的な元気活動への助成などを行います。
多彩なオンラインワンなど富山の魅力の紹介……八五〇万円
富山県のオンラインワンの魅力を紹介する冊子を作成します。このほかメールマガジンの拡充などイメージアップ事業を推進します。

健康

小児救急医療の充実……一、〇一六万円
砺波地域に設置される小児専門の休日夜間急患センターの開設や、小児救急医療体制を整えるための協議会の設置への支援などを行います。
難病相談・支援センターの開設……七二〇万円
難病患者やその家族からの相談を受け付けるほか、就労支援などを行います(平成十六年十月開設予定)。

教育

小学校二年生における三十五人学級の実施など少人数教育の推進……一億七、二〇九万円
生活習慣や学習態度を身につける大事な時期である小学校一、二年生において、三十五人学級を段階的に導入、平成十六年度は一年生において実施します。また、他の学年でも教員や非常勤講師を増員配置し、少人数教育を充実します。



教員と非常勤講師によるきめ細やかな指導

高岡地区生涯学習校の開校……一億八、九〇九万円
志貴野高校に県民生涯学習カレッジ高岡地区センターを併設した高岡地区生涯学習校を開校(四月五日)、県民の自主的な学習活動を支援します。

文化

国際文化交流事業への支援……九、〇〇〇万円
国際文化交流事業として開催される演劇祭などを支援します。
・アジア太平洋子ども演劇祭(八月一日～六日)
・Beseto演劇祭(八月八日～二十日)
・利賀フェスティバル2004
(四月二十九日～五月四日)

生活

立県

安全・安心で快適な暮らしづくり

福祉

地域福祉活動への支援……七、二一五万円
家庭・地域事業者などが連携したコミュニティケア活動を充実させます。また、民家や空き店舗を活用した活動の拠点である、ふれあいサポートセンターの整備を支援します。
子どもから高齢者までの要支援者を地域で支え合う仕組み
在宅福祉の推進……一億九、五四二万円
介護保険対象外の高齢者に対する保健・福祉サービスへの助成や、在宅復帰モデル研究事業に取り組みます。

交通

北陸新幹線の整備……六億七、九八九万円
県内工事区間の建設を促進します。また、南越までの早期整備が実現されるよう、政府など関係機関に働きかけます。
富山駅周辺と新高岡駅(仮称)周辺の整備……一、〇二六万円
富山駅周辺の連続立体交差事業の着工に向けて、設計などの諸調査を進めます。また、新高岡駅(仮称)周辺地区の整備計画の策定に向けた取り組みに対して支援します。
神通川右岸から都市計画道路大泉線までの約二キロメートルの区間で、JR在来線と富山地方鉄道線を高架化するもの



歩いて健康づくり

県民ウォーキング運動

富山県民の運動習慣者の割合は一九・三%で全国の二九・三%を大きく下回っています(平成十二年調査)。
普段、仕事や家事で忙しい方でも、手軽にできる「身近な運動は、歩く」ことです。
県では皆さんに運動する習慣を少しでも身につけていただくため、歩くことによる健康づくりを進めていきます。
三十分以上の運動を週二回以上、一年以上続けている方

情報の提供……一、一五〇万円

ウォーキングの効用正しいフォームなどを紹介する手引きを作成配布します。また、身近に楽しめるコースやイベントなどの情報を提供します。

イベントの開催……四、二五万円
水士里ウォークやイベル街道ウォークラリーなど気軽に参加できるイベントを開催します。

参加者募集

水士里ウォーク(イベル街道)
開催日/五月三十日(日)
場所/庄川合口堰堤周辺
申込締切/五月二十日(木)
問合せ 県庁耕地課
076(444)3376



農業用水の周辺を散策する水士里ウォーク

環境の整備……一億、九三〇万円

歩道の段差や勾配の解消などにより、歩きやすくなる道づくりを進めます。また、マイカーだけに頼らず、徒歩や公共交通機関を利用して快適に生活ができるよう、公共交通機関相互の乗り継ぎの円滑化を検討します。

富山港線の路面電車化への支援……一億円
路面電車化事業のために設立される新会社に対して出資などを行います。

富山空港の機能拡充のための整備と上海便の誘致……一億三、三四四万円

安全な暮らしを確保します

食品の安全対策

BSE(牛海綿状脳症)対策……一、五四五万円
出荷牛の全頭検査などを引き続き実施します。



食品検査の充実……七九一万円
市販されている食品のアルキル物質や食肉中の残留抗生物質の検査を実施します。また、県産の青果物における残留農薬の自主検査を支援します。

高病原性鳥インフルエンザ対策

病気の発生を迅速に見つける監視体制の強化や検査体制の整備を行います。また、養鶏場における衛生管理の徹底など、適切な防疫措置を講じます。

地域の安全対策

警察官二十名と交番相談員五名の増員
地域安全緊急パトロール事業の拡充……六、〇八八万円
富山・高岡の中心市街地や港湾地区におけるパトロールを夜間まで拡充します。

防犯活動アドバイザーの設置……六七五万円
サマターン回しなどによる侵入盗犯の防止について指導します。
地域の自主防犯組織の活動への助成……一、四〇万円
民間パトロール隊などの自主防犯活動を支援します。

交通安全ふれあいファミリー事業の実施……二、一六一万円
幼児・小学生から祖父母等に交通安全を呼びかけるなど、高齢者の交通事故防止に努めます。

環境
立県

環境と調和した
美しい地域づくり

ごみゼロ推進大運動の展開
……………一、三三七二万円
生ごみリサイクルモデル事業への支援や、ごみゼロメールマガジンの配信などを行います。



生ごみの堆肥化に取り組む小学校

産業廃棄物の発生抑制、再生利用などへの支援……………五〇〇万円

事業者が循環型社会形成のために取り組む研究開発などに対して助成します。

とやま環境チャレンジ10の実施……………一八〇万円

十歳の児童が家族とともに、地球温暖化を防ぐための十の取組みを考え、十週間実践します。

学校給食での地産地消の推進……………四五八万円
学校給食での地場産食材の利用拡大や、県産米を活用した米粉パンの導入に対する支援などを行います。

雇用

緊急雇用創出特別基金の活用……………一〇億三、三二一万円

教育・環境・防犯などの幅広い分野で活用し、雇用の創出を図ります。

県や市町村が事業を事業者へ委託することなどにより、臨時的な雇用の機会を創出するもの

国際
立県

環日本海交流の
中央拠点づくり

NOWPAP 本部事務局の活動支援……………六、三九〇万円
北西太平洋行動計画 日本海と黄海の環境保全などを目的とする国連環境計画(UNEP)の取組み。本部事務局が富山市内に設置されることが決まっております。日本海側で初めての国連機関となる。

富山県大連事務所開設……………三、八四八万円
経済交流や学術文化交流などの業務を行うとともに、中国での人的ネットワークを構築し、県内企業、大学、文化団体などの活動を支援します(四月開設)。

環日本海交流会館の運営支援……………一、八五〇万円

環日本海地域を中心とした交流や国際理解が推進されるよう、その運営を支援します(四月下旬に開館予定)。

景観づくりの取組みへの支援……………一、二六九万円

景観条例に基づいて四月から大規模な建築・開発行為の届出制度を開始するほか、景観づくりのための住民協定の締結に対する助成などを行います。

都市と農山漁村地域との交流の促進……………一億一、三一九万円
体験農園施設の整備や指定された重点地域での交流活動に助成するほか、ガイドブックの作成、アドバイザーの派遣などを行います。

地下水の揚水量実態調査などの実施……………一、〇八〇万円
地下水指針の改定の基礎資料とするため、全県域を対象とした地下水揚水量実態調査や、富山地域と高岡射水地域での地盤の水準測量調査を実施します。

産業
立県

知恵と技術が
活きる産業づくり

県ハイオ推進戦略会議の設置……………一八〇万円

産学官の有識者で構成し、バイオテクノロジー施策を戦略的に展開します。



バイオチップの開発に取り組む工業技術センター

NEAR 2004・中国の開催……………一、九〇〇万円

中国との経済交流エキスポを本県で開催(九月)、中国との経済交流を推進します。

North East Asia Region(北東アジア地域)の略称
……………一、四一一万円

優れた技術や豊かな経験を持つ中高年齢者を北東アジア地域へ派遣し、技術指導や日本語教育を行います。



中国で技術指導にあたるシニアボランティア

日本海学の推進……………七、〇六二万円
全国の研究者との調査研究、大学との連携講座、県民による研究活動などを進めます。また、シンポジウムを開催などにより、一層の普及・発展に努めます。



日本海について学ぶ帆船海王丸での海洋教室

環日本海地域と日本海の過去・現在・未来にわたる人間と自然の関わり、地域間の人間と人間との関わりを総合学として研究するもの

健康サービス産業の育成・振興の検討……………二〇〇万円

和漢薬や海洋深層水など地域固有の資源を活用した健康づくりのための新しい健康サービス産業の育成・振興について、検討を進めます。

元気とやま中小企業総合支援ファンドの設置……………二億円

ベンチャー企業への投資や、地域貢献型事業(コミュニティビジネス)に取り組むNPO法人などの債務保証を行います。

若者の就職活動を応援します

若者のためのワンストップサービスセンターの設置……………三、一六八万円

若者の失業率が高く、また就職してもすぐに辞めてしまう若者が多いことが問題となっています。県では、若者の就職を支援するさまざまなサービスを提供するとして受けられるワンストップサービスセンターを富山労働局などと連携し、七月にとやま自遊館に設置します。若者が気軽に立ち寄れるような空間づくりを目指しています。



消費者の声を反映した商店街の改善……………四〇〇万円

消費者と商店主が、やる気のある商店街を評価し、各商店主と意見交換を行いながら改善を図ります。

収益性の高い水田農業の確立……………一億一、四五〇万円

平成十六年度からの新しい米政策に対応するため、大豆、麦などの転作物と地力増進作物を組み合わせた作付けや、園芸作物の作付けなどに対して助成します。

新時代の
行政運営

住民と地方が主役の県づくり

県民参画の開かれた県政の推進

県の本ホームページを刷新します。

県民の意見を広く募集するパブリックコメントや出前県庁を充実します。



職員が各地へ出向いて県の施策を説明する出前県庁

行政機関が重要な計画などをつくる時に、その案を公表し、それに対する住民からの意見を考慮して最終的な意思決定を行うもの

県民サービスの向上

インターネットを利用した申請・届出の受付を四月から開始します。
県立文化ホールの開館時間の延長や会議室などの料金体系の見直しを行います(以下表)。

県西部の運転免許証更新窓口について、高岡市での設置に向けて調査・準備を進めます(十月設置予定)。

地方集権の推進

市町村への権限移譲を進めるとともに、市町村合併特例交付金を交付するなど、合併による新たなまちづくりに向けた取組みを支援します。

行財政改革の推進

引き続き政策評価を実施し、県民新世紀計画の効果的・効率的な推進を図るとともに、質の高い行政サービスを提供していきます。

県立文化ホールの料金体系などの見直し

区分	3月31日まで	4月1日から	対象施設
開館時間	午後9時まで	午後10時まで	県民会館、教育文化会館、高岡文化ホール、新川文化ホール、県民小劇場(オルビス)
会議室などの料金	特定の時間帯ごとの料金設定	1時間単位の料金設定 3時間までは一定額	
冷暖房料金	夏と冬に会議室などの料金の20%程度を加算	廃止	上記のほか、県民共生センター、総合福祉会館、国際交流センター、花総合センター、中央植物園、木材利用普及センター、立山博物館・教算坊

行政改革については(三月二十七日)土曜日の新聞朝刊各紙に掲載した「県からのお知らせ」で詳しく紹介しています。

問合せ 県庁財政課
076(444)3166~9
http://www.pref.toyama.jp/sections/1105/16tocho-index.html

4月から電子申請が はじまります

インターネットでの
申請や届出が可能に

図1

4月1日から電子申請が利用できる手続

- 能力開発セミナーの受講申込み
 - 登山届
 - と畜検査の申請
- など20手続
利用できる手続は、順次増やしていきます

図2

県と市町村の
電子申請のためのホームページ

eとやま.net
【イートヤマ ドットネット】

<http://e-toyama.net/>



4月1日公開。イベントや観光などの行政情報もご覧になれます。

電子署名についての詳しい情報は

個人 [公的個人認証サービスのホームページ](http://www.jpki.go.jp/)
<http://www.jpki.go.jp/>

会社 [法務省「商業登記に基づく電子認証制度」のホームページ](http://www.moj.go.jp/ONLINE/CERTIFICATION/index.html)
<http://www.moj.go.jp/ONLINE/CERTIFICATION/index.html>

いつでもどこからでも手続ができます

これまで、県への申請や届出などの手続は、書類を郵送するか直接窓口へ提出する必要がありました。県では、平成十五年十二月に制定した行政手続オンライン化条例により、今年四月からインターネットで申請や届出ができる電子申請を開始します(図1)。

電子申請が始まることで、夜間や休日を問わずいつでも、自宅や職場などどこからでも、手続ができるようになります。

このような電子申請は、県だけでなく、国や市町村でも準備が進められています。また、四月からは、県と市町村が連携して電子申請のためのホームページ(図2)を開設しますので、ぜひ利用してください。

電子署名で安心して手続ができます

本人からの申請かどうかを確認するために、書類への押印や署名が必要な手続があります。今年五月以降には、このような手続についても、「電子署名」をしていただくことにより電子申請が可能になります。

電子署名には、書類に印鑑を押すのと同じ効果があります。これにより、他人が本人になりすまして申請することや、申請書の内容を改ざんすることが防げます。

電子署名をするためには、印鑑証明の役割を果たす「電子証明書」が必要です。電子証明書は、個人の場合は市町村、会社の場合は法務局で発行しています。電子署名を利用される方は、あらかじめ発行の手続をお済ませください。

問合せ 県庁情報政策課
076(444)3117

電子申請に必要なもの 個人の場合



とやまの

やる気・元気

知るほどに楽しい。 植物の奥深さに 魅せられて。



富山県中央植物園友の会
ボランティアの
皆さん

左より
井上 さち子さん
武田 宏さん
高木 末吉さん

「中央植物園友の会」は、園内外での観察や学習を通して植物についての知識を深め、植物園の活動に協力することを目的としてつくられた。植物が好きな人々が集まり、植物誌、植物画、きのこなどの部会活動も行っている。平成11年度から、所定の講座を受講した会員はボランティアとして認定され、植物園の教育普及活動や調査研究活動に貢献している。現在、登録されているボランティアは35名。

植物の楽しさを知ってほしい

正面ゲートを入ってすぐのサンライイトホールの一角に、インフォメーションコーナーがある。井上さんはここで来園者の問い合せに応えるボランティアの一人だ。

「見ごろの花は何ですか」「どんなふうに回ったらいいですか」と聞かれることが多いですね

展示している植物は五千種以上。見ごろの花は季節によって違い、一週間で変わることもある。井上さんは、実際に回って確かめてから教えているという。

また、友の会会報誌の編集も手伝っている。植物の研究分野は多岐にわたるため、取材するにも勉強が欠かせない。「もっと知識を深めて、植物の楽しさを皆さんに伝えていきたい」と井上さんは語る。

自分の楽しさと人の喜びと

武田さんは、月に一度行われる植物園オリエンタリングを手伝っている。

「クイズに答えながら見ごろを回れますから、参加した方は『こういふ回り方もいいね』と喜ばれます。そんなときはうれしいですね」

武田さんのもうひとつの活動はきのこ部会だ。西洋の童話に出てくるきのこに魅せられ、学生時代から培養していたという。

「きのこは、根元から菌糸を取って培養すると、そこからまたきのこができる。それが面白くて」

きのこ部会は、年に四回観察会を行い、県内各地で採集している。

「皆さんは食べるためにきのこを採るけれど、私たちの目的は富山県に分布しているきのこの種類を明らかにすることなんです」

昨年秋季には、空色の可愛いきのこ「ソライロタケ」を採集。県内初の標本となった。

地道に、確実に、標本を採集

高木さんと植物園との出会いは、地元の新湊で採集した植物を持ち込んだ時に始まる。

「研究員の方に『これは珍しい』と言われて、それで火がついて(笑)」。以来、高木さんは植物誌部会で



植物誌部会は、春から秋にかけて屋外で採集を行い、冬期に採集してきたものの種類を確定する作業を行っている。標本は、採集者の名前を入れて標本庫に納められる。植物園の標本数は1万点を越えた。

活躍。植物園は、県内の植物を網羅した「富山県植物誌」の制作を目指しており、高木さんたちはその基礎となる植物標本の採集や種類を確定する作業を行っている。

「県内全域を調査するには、数人の研究員では限界がある。私たちのような広がりが必要なんですよ」

高木さんは、これまで絶滅危惧種や県内にはないと考えられていた植物の生育をいくつも確認している。

「土地開発などで生態系が乱れ、絶滅危惧種は身近なところにもあるんです。夢中で探していて、職務質問されたこともあります(笑)」

植物の知識を学べる喜びと、貢献する喜び。ボランティアの皆さんは、いくつもの喜びとともに力強く中央植物園を支えている。

問合せ

富山県中央植物園ボランティア養成係
076(466)4187

2月

- 1日 県民スポーツレクリエーション祭 冬季大会
- 8日 北方領土の日記念講演会
- 10日 ベンチャープラザとやま



10社の企業が販路や資金を求めてビジネスプランを発表した。

- 12日 深層水フォーラム、企業立地セミナー、いきいき富山パフォーラム 漫画「美味しんぼ(富山編)制作グループへの県イメージアップ賞贈呈式
- 13日 緊急学卒合同就職面接会 県新世紀行政改革懇談会
- 15・21日 都市農山漁村交流推進大会
- 16日 NOWPAP(北西太平洋行動計画) 富山事務所開設に向けた特別講演会



UNEP(国連環境計画)のテプファー事務局長が来県し、富山事務所の設置について説明した。

- 17日 富山 - 上海便開設要望団訪中 (~20日)
- 24日 景観づくり講演会



法政大学教授の陣内秀信さんが、イタリアと日本のまちの比較を交えながら、魅力ある景観づくりについて講演した。

- 27日 2月定例県議会(~3月23日) 第1回高病原性鳥インフルエンザ 防疫対策会議

3月

- 6日 北陸新幹線朝日トンネル貫通式
- 9日 富山バイオ賢人会議
- 24日 国道8号魚津滑川バイパス開通式

4月

今後の予定

- 5日 高岡地区生涯学習校開校



わが家は母子家庭なのですが、子どもを預けて働きに出ようと思っています。就職先を紹介してくれるところはありませんか？



母子家庭等就業・自立支援センターでは、母子家庭のお母さんや寡婦の皆さんのために、就業相談や求人情報の提供を行っています。また、就職に必要な教育訓練を受けたい方のために、その受講料の一部を給付する制度などもあります。ぜひご利用ください。

富山県・富山市母子家庭等就業・自立支援センター

富山市安住町5-21 県総合福祉会館3階
☎076(432)4210

利用時間

月~金曜 【来所】午前9時~午後5時 【電話】午前9時~午後8時
土、日曜 【電話】午前10時~午後4時

母子家庭自立支援給付金

区分	内容	給付額
自立支援教育訓練給付金	経理事務やホームヘルパーなど県が指定した教育訓練講座の受講者に受講料の一部を支給	受講料の40% (8,000円~20万円)
高等技能訓練促進費	看護師や介護福祉士、保育士など専門的な資格を取得するため、2年以上養成機関で修業する方を対象に生活費を支給	月額10万3,000円 (修業期間の最後の1/3の期間で1年間を限度)

申請窓口

【市にお住まいの方】市の母子福祉担当課
【町村にお住まいの方】県の各厚生センター

問合せ 県児童青年家庭課 ☎076(444)3209



会社から突然、辞めてほしいと言われ、とまどっています。どこか相談できるところはないでしょうか？



県では、解雇や賃金、労働時間など労働についてのさまざまなお悩みにお答えする労働相談を行っています。職員が相談に応じる一般労働相談のほか、弁護士が相談に応じる特別労働相談があります。また、Eメールでの相談にも応じています。相談は無料で、秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。



区分	開催日	時間	場所
一般労働相談	毎週月~金曜日	午前8時30分~午後5時	県庁南別館3階 労働雇用課
	毎月第2・4火曜日	午前10時~午後3時30分	高岡市役所会議室
特別労働相談 (事前予約が必要です)	毎月第3火曜日	午後1時30分~3時30分	県庁東別館2階 労働相談室
	偶数月第2火曜日	午後1時30分~3時30分	高岡市役所会議室

Eメール労働相談 rodokoyo1@pref.toyama.lg.jp

問合せ 県庁労働雇用課 労働相談ダイヤル ☎076(444)9000

これからもういろいろな声をお寄せください。



〒930-8501
(住所記入不要)
「県民のひろば」係

県民相談電話・FAX・Eメール

TEL.076(431)3131
FAX.076(444)3300
E-mail.koho@pref.toyama.lg.jp

皆さんに郷土の良さを再発見・再認識していただくため、新聞・テレビ・雑誌など、さまざまなメディアで全国で紹介された富山の話を紹介します。今回は平成16年1月～2月に紹介された話題の中からいくつかを紹介いたします。なお、ここで紹介しきれなかったものは県庁広報課のホームページでご覧になれます。

花粉が出ないスギ「はるよこい」

県林業技術センターが花粉症の原因となる花粉ができないスギの育成に成功し、「はるよこい」の名前で国に品種登録したことを紹介。2011年に苗木500本の供給を目指している。

○「読売新聞」1月6日

○Japan FM Network「モーニングフリーウェイ」1月7日



富山湾の漁り火が変わる？

富山湾の沖合に輝くスルメイカ漁の漁り火は、光が強いほどよく釣れるとされている。しかし、その大半の光は漁と無縁の夜空に放たれており、効率化を図るため、光の量を抑える取組みが進められているという。

○「朝日新聞」1月19日



JR氷見線・城端線を忍者ハットリくんが走る

JR氷見線と城端線に「忍者ハットリくん」を描いた列車が登場することを紹介。原作者で氷見市出身の漫画家、藤子不二雄(A)さんの協力により実現したもので、3両編成で、3月27日から運行が始まり、5年間運行される予定だという。

○「旬刊旅行新聞」2月21日



月10万円の生活費で暮らせる町

庄川町の美しさに魅せられ、東京から移り住んだ夫婦を紹介。町の住宅奨励金などを活用して住居を構え、夫は町の宣伝マンとして働いている。経済的には楽ではないが、東京にいたころのようなストレスがなく、今の生活に幸せを感じているという。

○「週刊朝日」1月23日号



日本海の三大珍味

人気お笑いタレント、ナインティナインの矢部浩之さんが日本海の三大珍味を食べるために魚津市を訪れ、底引き網漁に挑戦。深海魚の「ノロゲンゲ」「タナカゲンゲ」「セッパリカジカ」が三大珍味として紹介された。

○日本テレビ「ナイナイサイズ」1月10日



「土曜スペシャル」列島ふしぎ大自然!絶景ニッポンの春(仮題) 北日本放送テレビ 4月11日(日)午後1:00～2:54

県内からは、富山湾のホテルイカと屋気楼が紹介される。

「NHKのど自慢」(砺波市)

NHK総合、衛星第2、ラジオ第一 4月25日(日)午後0:15～1:00

「あっぱれ富山3(仮題)」

文化放送、北日本放送ラジオ 4月29日(木・祝)午前10:00～11:00
クロスランドおやべなどから生中継される。

今後の予定

富山県が全国で紹介された情報をお持ちでしたら、ぜひ県庁広報課までお知らせください。

県政クイズ

インターネットで申請や届出ができるのは、「申請」です。
(を埋めてください。)

ヒント：7ページをご覧ください。

応募方法

はがきに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と本誌の感想を記載し、富山県庁広報課「県広報とやま4月号クイズ係」まで。
締切/4月7日(水)(必着)

正解者の中から20名の方に、中央植物園入園券(ペア)と「富山さくらの名所」をセットでプレゼントします。

(当選の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。なお発送予定日は4月8日です。)



とやまの情報お伝えします!【4月の県政番組・お知らせ】

こんにちは富山県です

北日本放送テレビ 毎週日曜 11:00～11:30

4日 富山のさくらを楽しもう
11日 みなさんの声を県政に
18日 わがまち自慢～入善町～
25日 先人からの宝物～文化財～

新番組

きときと☆キッズ フォーカス・イン

富山テレビ 毎週日曜 9:00～9:30

小学生(4～6年生)をスタジオに迎え、県内の多彩なオンリーワンの魅力や、県民の元気な取組みなどをクイズ形式で楽しく紹介。出場者の応募方法などは下記ホームページをご覧ください。
<http://www.bbt.co.jp/>

出場者募集中

新番組

富山メモロナイト!

チューリップテレビ 毎週火曜 21:55～21:58

県が取り組んでいる事業やイベントの内容などをわかりやすくタイムリーにお知らせします。

とやま県聞録

F M とやま 毎週月曜～木曜 11:30～11:40
毎週土曜 11:30～11:55

新聞広報「県からのお知らせ」

4月10日、24日の朝刊各紙に掲載予定
子ども富山県広報「きときと キッズ」
小学校4～6年生全員に配布(春号は4月上旬)
富山県ホームページ <http://www.pref.toyama.jp/>

編集部から

3月中旬のキンキマメザクラから7月上旬のタカネザクラまで、富山県は日本で一番長く桜の花を楽しむことができるそうです。普段、花には無頓着でも、なぜか桜だけは見に行きたくなくなってしまいます。今年は中央植物園の桜並木をゆっくりと何も考えず歩いてみようと思います。

県広報とやまは、隔月(偶数月)発行で新聞折込により各家庭にお届けします。また、県の各施設や市町村役場、図書館、文化ホールなどでも配布しているほか、本号とバックナンバーは、県庁広報課のホームページで閲覧することができます。

「県広報とやま」に関する
ご連絡、ご質問は


〒930-8501(県庁専用郵便番号、住所記入不要) 県庁広報課あて
☎ 076(444)3134 FAX 076(444)3478 E-mail koho@pref.toyama.lg.jp
ホームページ <http://www.pref.toyama.jp/sections/1101/1101.htm>

開 開館・開園時間 休 休館・休園日 料 利用料、参加料 対 対象 数 募集人数 締 募集締切
 ♿ 身障者用駐車場有り 出入口平坦またはスロープ有り 車いす対応エレベーター有り
 ♿ 車いす用観覧席有り ♿ 車いす用トイレ有り 洋式トイレ有り ♿ ベビーシート有り

近代美術館

野見山暁治展 はるかな変容
 【4/3(土)~5/23(日)】
 対象の奥底を見つめ、戦後日本美術の第一線で活躍し続ける画家、野見山暁治の初期から最新作までの作品を展示します。
 料 一般900(前売700)円 高・大650円 小・中450円
 常設展示もご覧になれます。


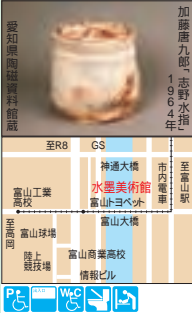
開 9:30~17:00(入館は16:30まで)
 休 月曜、祝日の翌日(4/29~5/5は無休)
 料 常設展 一般200円 高・大160円 小・中100円




水墨美術館

没後20年 荒川豊蔵と加藤唐九郎展 ~ 桃山陶の美に魅せられた二人の軌跡 ~
 【4/6(火)~5/9(日)】
 桃山陶の伝統を受け継ぎながら独自の作風を作り上げた、日本を代表する陶芸家である二人の作品を紹介します。
 料 一般900(前売700)円 高・大650円 小・中450円
 常設展示もご覧になれます。


開 9:30~17:00(入館は16:30まで)
 休 月曜、祝日の翌日(4/29~5/5は無休)
 料 常設展 一般200円 高・大160円 小・中100円

埋蔵文化財センター

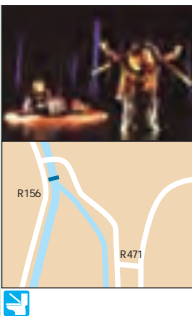
企画展「古代へのとびら」
 【4/1(木)~9/16(木)】
 旧石器時代から中世に至る各時代の人々の生活を、出土した土器や石器などを通して紹介します。
 料 無料

開 9:00~17:00
 休 金曜
 料 無料




利賀芸術公園

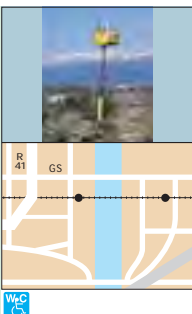
利賀フェスティバル2004
 【4/29(木・祝)~5/4(火・祝)】
 日本、インド、アメリカの気鋭の舞台芸術家が競演します。
 舞台公演「道成寺」「かもめ」「カタカリ・ダンス」「Go True West」など
 このほか、シンポジウム、公開討論などを開催
 料 舞台公演 3,000円~ 全席自由(要予約)




常願寺川公園

常願寺川公園桜まつり
 【4/3(土)~11(日)10:00~16:00 (4/3のみ11:00~)】
 桜に囲まれた華やかな雰囲気の中で、高所から花見を楽しむ「キリンの目で花見」「ちびっ子ふわふわ天国」「放水体験コーナー」「出発進行!ミニSL」などのイベント(土・日曜のみ)や特産品の販売等を行います。
 料 各イベント1回 100円(放水体験、ミニSLは無料)

開 9:00~17:00
 休 火曜、祝日の翌日(5/1~5は無休) 料 無料



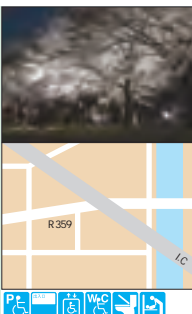

中央植物園

夜桜観賞
 【ソメイヨシノの満開日2日間 18:00~】
 ライトアップされた夜桜を観賞します。
 料 終日入園料無料 実施日はお問い合わせください

日曜植物案内
 【4/4(日)11:00~12:00】

植物園オリエンテーリング
 【4/18(日)10:30~12:30】

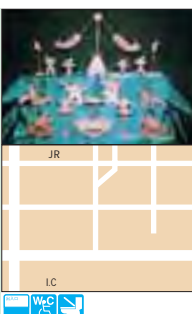
開 9:00~17:00(入園は16:30まで)
 休 木曜(4/29~5/5は無休)
 料 一般600円 小・中300円




ウッドルーム富山

趣味の木工教室
 【4/3(土)4(日)10(土)11(日)】
 土曜13:30~16:30 日曜9:00~12:00
 糸のこぎりを使用して、五月人形を製作します。
 数 20名(申込順)
 締 各開催日の前日まで
 料 1,500円(材料代)

開 9:00~16:30
 休 火曜、祝日の翌日(4/29~5/5は無休)
 料 工作室 一般220円 小・中110円





太閤山ランド

みどりの散歩道
 【4/29(木・祝)13:00~16:00】
 ナチュラリストと一緒に園内を散策します。
 数 100名(申込順) 締 4/23(金) 料 無料

世界の版画名作展
 【5/30(日)まで10:00~17:00(5/1~5は18:00まで)】
 ルーやピカソなど、20世紀の版画作品を展示します。
 料 無料


開 9:00~17:00
 休 火曜、祝日の翌日(4/29~5/5は無休)
 料 無料(駐車料金等は別途必要)




頼成の森森林科学館

緑に親しむ集い
 【4/29(木・祝)9:30~15:00】
 しいたけの原木作り体験やナチュラリストとの森林浴を楽しみます。
 対 5歳以上
 数 80名(申込順)
 締 4/26(月)
 料 200円(材料代)


開 9:00~17:00
 休 火曜、祝日の翌日(5/4、5は開館)
 料 無料




砺波青少年の家

春 森の恵み
 【5/8(土)10:00~15:00】
 しいたけ栽培の体験や山菜など春の味覚を採集し、自然の恵みを堪能します。
 数 50名
 締 4/9(金)~28(水)
 料 750円(保険料、活動費)


開 9:00~17:00
 休 月曜、祝日の翌日、5/3~5(5/6は開館)
 料 日帰り90円
 宿泊 小・中340円 25歳以下670円 26歳以上1,020円




二上青少年の家

春の楽しさ発見!
 【5/16(日)9:00~15:00】
 ナチュラリストの案内で春の自然を学びます。
 対 小学生以上(小学4年生以下は保護者同伴)
 数 80名(申込順)
 締 4/20(火)~5/7(金)
 料 500円(食事代、教材費)

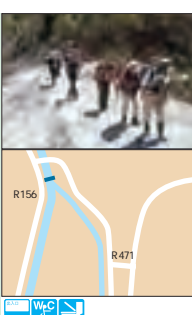
開 9:00~17:00
 休 月曜、祝日の翌日、4/11、5/3~6(4/12は開館)
 料 日帰り90円
 宿泊 小・中340円 25歳以下670円 26歳以上1,020円




利賀少年自然の家

春の金剛堂山登山
 【5/22(土)~23(日)】1泊2日
 利賀村最高峰の金剛堂山に登り、新緑の自然を満喫します。
 数 50名(申込順)
 締 4/12(月)~5/12(水)
 料 一般3,500円 小・中3,000円 (宿泊・食事代、保険料)

開 9:00~17:00
 休 月曜、祝日の翌日、5/6、15~18(4月は無休)
 料 日帰り90円
 宿泊 小・中340円 25歳以下670円 26歳以上1,020円




土・日・祝日、教育活動での小・中・高校生の観覧、入園は無料です。
 近代美術館、水墨美術館の前売り券(一般のみ)は、開催の前日まで各美術館、県民会館、高岡文化ホール、新川文化ホールで販売しています。



本誌は古紙100%の再生紙を使用しています。 次号6月号は6月6日(日)に発行予定です。